



GlaxoSmithKline

生きる喜びを、もっと  
Do more, feel better, live longer

# 自分で守ろう。自分のからだ。

今日からはじめる「子宮頸がん」対策



すべての女性に知ってほしい  
子宮頸がん情報サイト

allwomen.jp



グラクソ・スミスクライン 株式会社

〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-6-15  
<http://www.glaxosmithkline.co.jp>

CRXA0005-P0911N  
作成年月2009年11月(MDS)

監修

東京慈恵会医科大学 産婦人科 講師  
こころとからだの元氣プラザ 診療部長  
(女性のための生涯医療センターViVi)

小田 瑞恵 先生

協力：財団法人 日本対がん協会

私の名前は「愛」。  
今日は友だちとランニング。

婦人科って行ったことある？  
この間、生理不順が気になって、  
初めて行ったんだけど…。

子宮がんには「子宮頸がん」と  
「子宮体がん」の2種類があって、  
子宮頸がんは  
20～30代の女性では  
一番多いがんなんだって。

### 子宮頸がんと子宮体がんの典型例

【子宮頸がん】  
30代が  
発症のピーク

【子宮体がん】  
50代で  
肥満体型

「<sup>しきゅうけい</sup>子宮頸がん検診受けてますか？」  
って聞かれて。それで色々教えて、  
初めて検診を受けたの。

私は会社の健診で  
毎年受けてるよ。

乳がんだけでなく、  
子宮頸がんも  
知っておかなくてはいけない  
重要な病気なのよ。  
日本では1日に約10人が  
子宮頸がんて亡くなっているの。  
検診で早く見つけることができれば、  
ほとんど治せるのに。

お医者さんが  
いうにはね…。

えっ!?  
私一度も  
受けたことない。

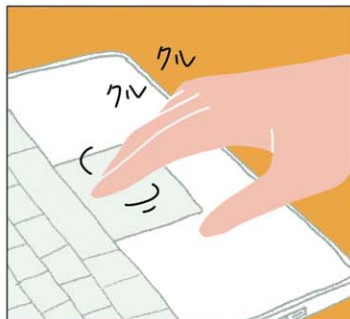
“がん”に  
かかるような  
歳じゃないし…。

何、いってるの!!

愛もきちんと  
検査を受けた方が  
いいんじゃない？

オーイ  
おいてく  
なんだか、  
心配になって  
きちゃった…。





## 子宮頸がんとは…？

子宮頸部(子宮の入り口付近)にできるがんです。

子宮がんには2種類あり、子宮の奥(子宮体部)に発生する「子宮体がん<sup>\*</sup>」もあります。

<sup>\*</sup>子宮体がんは、別名「子宮内膜がん」とも呼ばれます。

西洋梨を逆さにしたような形の子宮、その入り口(頸部)にできるがんを「**子宮頸がん**」と呼びます。

## HPVというウイルスの感染が原因です。

HPV(ヒトパピローマウイルス)は皮膚や粘膜に存在する、ごくありふれたウイルスです。100種類以上ありますが、子宮頸がんの原因となるのは15種類ほどで、「発がん性HPV」と呼ばれます。発がん性HPVは主に、性交渉によって感染します。

HPVはどこにでもいるごくありふれたウイルスです。

イラスト提供: GSK Biologicals





今日、ランニングのときに、子宮頸がん検診の話が出たの。ママは受けたことある？



もちろん、毎年受けてるわよ。愛は会社の健診で受けてるんじゃないの？

ううん。受けたことない。

受けた方がいいわよ。ママ、若いときに前がん病変※といわれてしばらく病院に通っていたのよ。

※がんになる前の異常な細胞がある状態(9ページ参照)。



えーっ！そうだったの！



どうやってわかったの？痛みがあったから？

検診を受けたからよ。症状は全くなかったの。

## 前がん病変や子宮頸がんの初期はほとんど無症状です。

子宮頸がんの初期には、自覚症状がないため、検診で見つかることも少なくありません。進行するにつれ様々な症状があらわれます。ごく初期に発見できれば、多くの場合、子宮を温存することができますが、進行すると子宮全体の摘出などの手術や、放射線や薬を使った治療も必要となり、妊娠や出産に影響を及ぼします。

### 知っとくメモ

#### 進行した子宮頸がんの症状

- 性交後出血
- おりものの異常 (茶褐色、黒褐色のおりものが増える、など)
- 不正出血(月経時以外の出血)
- 下腹部や腰の痛み など



ママになったなら私もなるのかな？



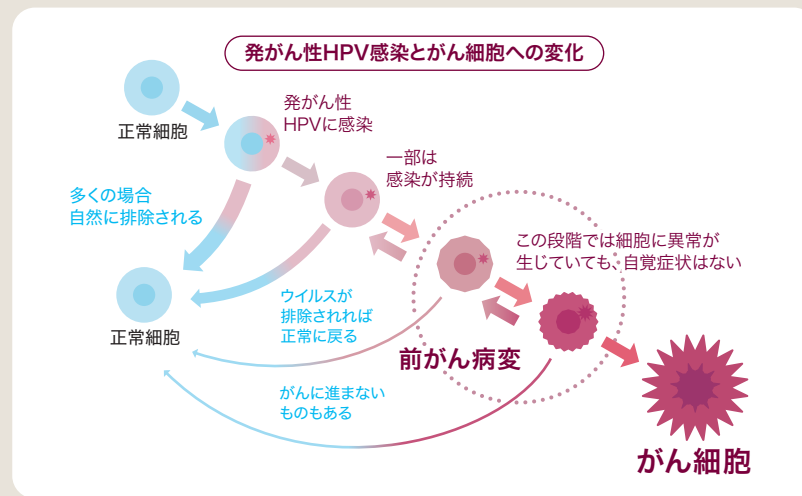
遺伝はしないけど誰にでも発症する可能性はあるらしいわ。





※性交経験がある女性の約80%が一生に一度は発がん性HPVに感染するといわれています。

## 発がん性HPVに感染しても、子宮頸がんになるのはごく一部です。



発がん性HPVに感染しても、90%以上は体内から自然に排除されるため、一過性です。排除されなかった一部のウイルスの感染が長期間続くと、子宮頸部の細胞が異常な形態を示すようになり、がん化するといわれています。しかし、HPVは一度排除されても、何度でも感染するため、定期的に検診を受けるなどして早期発見に努めることが大切です。



そういえば、この前、新聞に  
子宮頸がんを予防する  
ワクチンが日本でも  
接種できるようになったって  
書いてあったわよ

子宮頸がん予防ワクチン  
接種始まる。

えっ！  
ワクチン\*で  
“がん”を予防？

※ワクチンとは、病気を起こす力を弱めたり、失われた病原体をあらかじめ接種し、抗体を作っておくことで、病気に対する抵抗力(免疫)をつける方法です。ワクチン接種により作られる抗体は、体の中で病原体と戦い、病原体の感染を防ぎます。

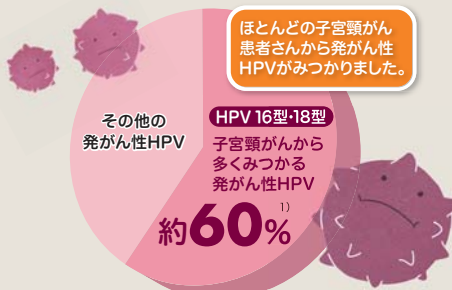
## 子宮頸がんを予防できるワクチンがあります

発がん性HPVの中でもHPV 16型、18型の2種類は、その他の発がん性HPVに比べて、特に子宮頸がんになりやすく、20~30代の子宮頸がん患者さんから高い頻度でみつかっています。

子宮頸がん予防ワクチンを接種することで、このHPV 16型、18型の感染をほぼ100%防ぐことができます。

このワクチンは、海外ではすでに100カ国以上で接種されています。

日本人子宮頸がん患者の発がん性HPV感染率



1) Onuki M et al.: Cancer Sci 100 (7):1312-1316, 2009

海外では多くの国で  
このワクチンが  
接種されているのね。  
日本でも接種できるよう  
なってよかったわ。

ワクチンでがんが予防  
できるのなら、  
私も接種したいな。

ところで、ワクチンを  
接種したら、  
子宮頸がん検診は  
受けなくてもよ  
くなるのかな？

ワクチンでは  
防げない発がん性  
HPVもあるから、  
定期的に検診を  
受ける必要は  
あるみたいよ。

早く見つければほぼ100%  
治るし、妊娠や出産にも  
ほとんど影響しないしね。

検診で早めにみつくて  
治療することも  
大切なんだね。

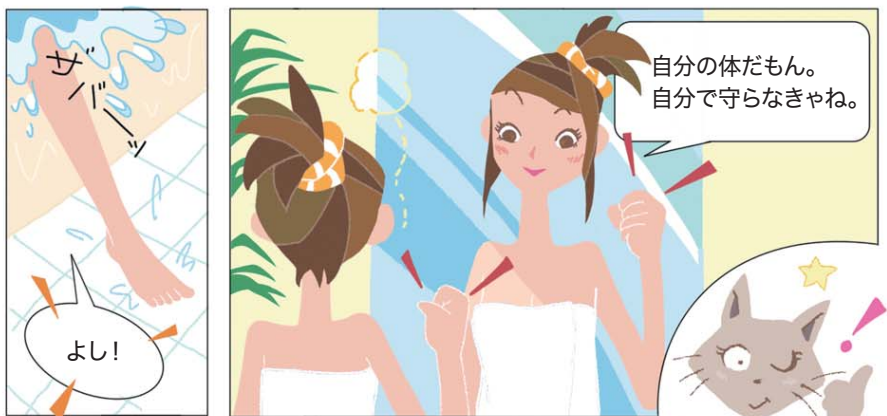
自治体でも  
子宮頸がん検診\*を  
やっている  
と思うから  
確認してみたら？

## 子宮がん検診\* (自治体)

自治体では、20歳以上の女性に対して子宮がん検診\*を実施しています。費用は自治体によって異なり、無料あるいは一部負担となっています。時期や場所などについては、各自治体にお問い合わせください。

※自治体で実施している「子宮がん検診」では「子宮頸がん検診」を行っています。「子宮がん検診」は医師が必要と認めた場合に行っています。



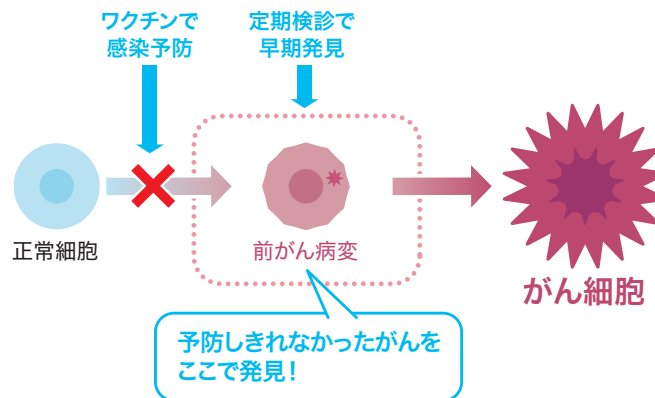


## 子宮頸がんは、 ワクチンの接種と定期的な検診で 予防することができるんです。



子宮頸がん予防ワクチンは、HPV 16型、18型の2つの発がん性HPVの感染を防ぐことができます。しかし、すべての型の発がん性HPVの感染を防ぐものではありません。また、接種前に発症している子宮頸がんや前がん病変の進行をワクチンによって遅らせたり、治すことはできません。これらの異常を見逃さないために、**ワクチンを接種した後も定期的な子宮頸がん検診の受診が必要です。**

### 子宮頸がん検診による早期発見



ワクチン接種後も、定期的に子宮頸がん検診を受けましょう!



教えて!

# 子宮頸がん予防ワクチン



1

## 子宮頸がん予防ワクチンは腕の筋肉に接種します

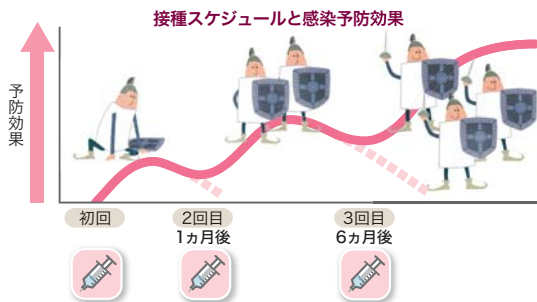
子宮頸がん予防ワクチンは、肩の近くの腕の筋肉に接種します。



2

## 子宮頸がん予防ワクチンは半年間に3回接種します

初回接種、初回接種から1ヵ月後、初回接種から6ヵ月後の合計3回の接種が必要です。3回接種することで十分な効き目が得られるため、きちんと最後まで接種することが重要です。



3

## 接種後の症状について

ワクチンを接種した後に、注射した部分が腫れたり痛むことがあります。このような痛みや腫れは、体内でウイルス感染に対して防御する仕組みが働くために起こりますが、通常数日間程度で治ります。

### 主な副反応

- 頻度10%以上 : かゆみ、注射部分の痛み・赤み・腫れ、胃腸症状(吐き気、嘔吐、下痢、腹痛など)、筋肉の痛み、関節の痛み、頭痛、疲労
- 頻度1~10%未満 : 発疹、じんましん、注射部分のしこり、めまい、発熱、上気道感染
- 頻度0.1~1%未満 : 注射部分のピリピリ感/ムズムズ感
- 頻度不明 : 失神・血管迷走神経発作(息苦しい、息切れ、動悸、気を失うなど)

重い副反応として、まれに、アナフィラキシー様症状(血管浮腫・じんましん・呼吸困難など)があらわれることがあります。





# 子宮頸がん



Q

まだ若いから、検診を受けなくても大丈夫？

A

子宮頸がんは比較的若い女性に多くみられ、特に20～30代の女性に急増しています。

子宮頸がんは、若い女性の妊娠や出産の可能性を脅かし、尊い命を奪うがんなのです。

若いときからきちんと検診を受けましょう。

Q

発がん性HPVは性交渉で感染すると聞きました。私は男性経験が多くないから、検診を受けなくても大丈夫？

A

複数のパートナーとの性交渉は、子宮頸がんのリスクを高めるといわれていますが、直接の原因ではありません。パートナーが1人の場合でも子宮頸がんになる可能性はありますので、必ず検診を受けましょう。

Q

ワクチンを接種すれば子宮がん検診を受けなくても大丈夫？

A

子宮頸がん予防ワクチンは、特に子宮頸がんになりやすいHPV 16型と18型の感染を予防しますが、すべての発がん性HPVの感染を防ぐものではありません。子宮頸がんを完全に予防するためには、ワクチン接種後も定期的に子宮頸がん検診を受けることが大切です。

Q

性交渉の経験があるので、すでに発がん性HPVに感染しているかもしれません。ワクチンを接種しても効果は期待できませんか？

A

現在発がん性HPVに感染しているとしても、今後自然に排除される可能性が高いです。しかし、このウイルスは何度も感染することがあるため、ワクチンを接種して次の感染を防ぐことが大切です。ただし、ワクチンは接種前に感染している発がん性HPVを排除したり、発症している子宮頸がんや前がん病変の進行を遅らせたり、治療することはできません。



# 覚えておきましょう



1

**子宮頸がんは、  
すべての女性に起こりうる病気です。**

子宮頸がんは、発がん性HPVの感染によって起こる病気です。発がん性HPVは性交渉によって感染しますが、性交経験のある女性の約80%が一生のうちに一度は感染するといわれるほど、ありふれたウイルスです。女性なら、誰でも起こりうる病気です。

2

**子宮頸がんを防ぐのに  
早すぎることはありません。**

子宮頸がんは、幅広い年代の女性にみられますが、特に最近では20~30代の女性に急増しています。もし、子宮頸がんになっても、はじめのうちは自覚症状がないため、自分では気づくことができません。検診を受けていれば、前がん病変から発見することができて、子宮を失うことなく、完治しうる病気です。子宮頸がんを防ぐのに早すぎることはありません。

3

**子宮頸がんは、  
立ち向かうことのできる病気です。**

子宮頸がんは、子宮頸がん予防ワクチンの接種による発がん性HPVの感染予防と、定期的な検診によって予防することができる病気です。正しい知識を身につけ、ワクチン接種後も1年に一度は検診を受けましょう。

